

喪失感を埋めるもの ～ 「大丈夫、未来は元気だよ」 ～

気が付けば、もう8月。6月の分散登校からはじまった一学期は、不思議な時間が流れていました。教室へ行っても半分の席が空き、友だち同士の会話も、距離をおかなければいけないし、何よりも、暑い日もマスクをしなければならないなんて！

そんな大変な条件がたくさんある中で、皆さん全員、たくましく生活してくれました。大変うれしく思います。先生方も皆さんが登校するようになってからは、元気を取り戻すことができました。本当にありがとうございました。

2週間だけの夏休みということは、皆さんはもちろん、先生方もはじめてです。また、花火大会や夏祭り、盆踊りなどが軒並み中止になり、残念ですが、皆さんの楽しみも例年通りにはいかなくなると思います。

いろいろな物事が、だめになった時に感じる気持ちを、「喪失感（そうしつかん）」と言います。難しいことばですが、言い換えれば、「胸に穴が開いたような気持ち」「心が空っぽになってしまう思い」となります。今回のコロナウイルスへの感染を防止するために感じたいろいろなことを思い返すと、「ああ、あの時の気持ちを『喪失感』というのか」と気付く所もあるでしょうか。

今回のようなコロナウイルス騒ぎがなくても、例えば、楽しみにしていた遠足が雨で中止になる、応援していたスポーツチームが負けてしまう、好きなスターが引退してしまう、かわいがっていたペットが亡くなってしまう・・・等、生きていく以上、このようなマイナスの経験をすることもあります。辛く、悲しく、体に力が入らない時期もありますが、それに負けない方法や手段を、人はそれぞれ考え出しています

実は、私にも、今月、楽しみにしていたことがありました。

それは、「すい(彗)星」を見ることでした。

「すい星」とは、水曜日の水、水(みず)の星ではなく、ほうき星の方。夜空で光る星に、尾がついたものです。少し前にはやったアニメ映画にも登場していました。

普段出ている星やお月様と違い、ほうき星はめったに表れません。今回のすい星は、今年の3月に見つかったばかりのものです。普通すい星は、ハレー彗星とか、池谷・関彗星というように、見つけた人の名前を付けるのですが、今回はアメリカのNASAによる「ワイズ」という開発計画により発見されたので、その名をとって、「ネオワイズ彗星」と命名されました。

彗星は太陽に近づくと、長い尾が表れます。その姿が、今月上旬から夕方の西の空に現れていたはずなのですが、・・・・・・そう、7月は、雨降りのお天気が多かったですね。そのため結局、尾を引いたすい星の姿を見ることはできませんでした。「今回はあきらめて、次のチャンスを・・・・」と思っても、お月様や普通の星とちがって、次にこのすい星が地球に近づくのは、なんと6,700年後。今年は西暦2020年ですから、西暦8,720年！・・・・・・気が遠くなる話ですね。

今回、尾を引いたすい星の姿を見ることを、楽しみにしていたのに、見られなかった…。大変残念です。誰を、何を恨めばよいのでしょうか。雨ばかり降らせたお天気ですか？ 一カ月間、晴れの日がなかった関東地方という場所ですか？ ……何も・誰も恨めませんね。

ではこの気持ち、初めに「喪失感」と言いましたが、心に空いた穴は、どう埋めればよいのでしょうか。

「いつかまた、別のすい星に出合える機会がある。」と思うことが、それにあたります。

実は今回のすい星が発見されたのは今年3月でした。それまでは7月に、こんな素敵な天体ショーが起きることなど予測されておらず、4カ月前になってはじめて「すい星が存在し、それが地球にやって来る」という事実がわかったわけです。ならば、これから先、同じようなことが起こらないはずがない、直前になって「いついつ、こんな素晴らしいことが起きる」という知らせがあることだってある。言い換えれば「未来を信じること」が、気持ちのすき間を埋める力になってくれています。

今回のコロナウイルスのことについても同じ。誰も・何も、恨むことはできません。また、仮に、何かの・誰かのせいにしたとして、そこから先には、何もありません。

校長室前に掲示しているアニメのキャラクター、未来からきた猫型ロボットは、「大丈夫、未来は元気だよ」と教えてくれています。

未来を信じること。これが例年とは異なる夏、夏休みを乗り切るためのキーワードになります。

いろいろなことをがまんしなければいけない夏休みになるでしょう。でもその「がまん」は、自分や自分の周りの人たちの「いのち」を守るための「がまん」です。命を守りつづけることで、元気な未来が、必ずやってくるはずです。

ただ、どうしても気持ちが上向きにならないとき。そんなこともあるでしょう。そんなときは、ぜひ、大人の人に相談してください。大人の方は皆さんより長く生きている分、心がからっぽになる経験やそれを満たしてきた経験も、たくさんしてきました。

「今年の夏を 宝物にしましょう」毎年夏休み前には、いつもこうお話しします。

今年できなかったことは来年の楽しみにとっておき。今年は今年にしかできないことに一つでも出会えて過ごせる夏休みにしてほしいと願っています。何よりも健康第一で過ごしてください。